

青森県議会議員選挙への出馬表明

2026 年 10 月 19 日 平川市議会議員 葛西 勇人

私は、次期青森県議会議員選挙への立候補を決意いたしました。

民間企業で約 25 年間、市議会議員として7年間培った経験を生かし、人口減少に向き合い、地域の声を県政につなぎます。

県民の暮らしを守る取組と、人口が減っても安心して暮らせる地域づくりを進め、人材育成と教育を通じて青森県の未来を支えてまいります。

1 出馬の原点と決意

私の原点は、幼い頃から抱いてきた「地域の役に立ちたい」「皆が笑顔で暮らせる社会をつくりたい」という思いです。50 歳までは組織の中で働き、社会の仕組みを学び、見識と実務能力を磨く。そして 50 歳を過ぎたら地元に戻り、その経験を地域と青森県の発展に生かすことを心に決めていました。

人口減少・少子高齢化の影響が暮らしの中に表れる今、市町村の取組を県政の場から支え、地域だけでは解決が難しい課題に取り組みたい。現場で学んだことを県政に生かすため、今回の出馬を決意いたしました。

2 県政に生かす経験

(1) 民間企業で約 25 年間培った現場主義

NECでは、デジタル技術やマーケティングに加え、「現場の課題を解決する答えは、現場にある」という姿勢を学びました。最後の5年間は青森県を担当し、県内 40 市町村すべてを訪問。地域を盛り上げる人材の力を実感する一方、空き家・空き地、放置船舶などの課題も目にしてきました。

(2) 地域活動と市議会議員7年間で得た学び

地域活動からは、人を育て、一人ひとりの力を生かすことの大切さを学びました。市議会では、住民の声を通じて地域課題を把握し、財政や市町村の役割への理解を深めてまいりました。

3 県政に臨む基本姿勢

県議会議員の第一の役割は、県民の立場から県政を監視・評価し、政策を立案・提言することです。施策の成果と課題を検証し、改善に向けた具体的な提案を行います。

地元の平川市と大鰐町では、財政の硬直化などにより、新たな取組に振り向けられる財源が限られていると認識しています。県の支援とともに、県と市町村が課題を共有し、それぞれの役割と強みを生かして協働することが必要です。知事や市町村長、地域の現場をつなぐ役割を果たし、課題解決に取り組めます。

4 政策の基本方針

人口減少の速度を緩やかにする「抑制」と、人口減少を見据えて地域社会を持続させる「適応」を、政策の中心に据えます。具体的な政策は後日発表いたしますが、基本方針は以下のとおりです。

(1) 物価高騰から暮らしと地域の事業を守る

物価高騰が家計や事業経営に及ぼす影響を把握し、県の対策を検証します。必要な支援が届いているか、現場の実情に合っているかを確かめ、対応を求めてまいります。

(2) 若者や女性や子育て世代から選ばれる県へ

若者や女性、子育て世代の声を聴き、青森県で暮らし、働き、将来を描ける環境を整えます。仕事や子育て、日々の暮らしを支え、「住み続けたい」「戻ってきたい」「移り住みたい」と思える青森県を目指します。

(3) 民間事業者が利益を生み出せる環境づくり

農家の方々や企業など民間事業者がしっかりと利益を上げ、その成果が賃金や雇用、新たな投資につながる環境を整えます。デジタル技術やマーケティングの知見も生かし、事業者の挑戦を支え、活気と魅力のある地域づくりにつなげます。

(4) 人口減少の抑制と適応の両立

人口減少に伴う課題を個別の問題として捉えるだけでなく、次の三つの視点から一体的に取り組みます。

- ① 人口減少の速度を緩やかにする政策を進める。
- ② 人口減少を前提に、暮らしを支える機能やサービスを持続できる地域社会をつくる。
- ③ 人手不足、空き家・空き地の増加、合葬墓へのニーズの高まりなど、人口減少に伴って顕在化する課題を解決する。

(5) 人材育成と教育を未来への投資に

子どもたちの可能性を伸ばす教育とともに、地域を支える人材や次の担い手を育てる取組を大切にします。一人ひとりが力を発揮し、役割や生きがいを持って暮らせることが、地域の持続力につながると考えています。

「地域の力の源は人であり、人を育てることが地域の未来につながる」

この信念を軸に、現場の声を聴き、県と市町村、民間の力を結びながら、県民の皆様とともに青森県の未来を切り開いてまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。